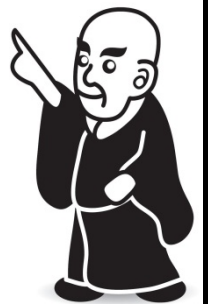


# 三條別院のご案内



## 三條別院報恩講 厳修

二〇二二年 十一月五日(月)〜八日(木)  
皆様のご参勤 参詣をお待ちしております

### 三條別院に想う

三十年も前だろうか。私が三條別院へ顔を出し始めてまもなく、初対面の住職から「あなたのおじいさんでしょう。この別院本堂の建設時の責任者のお一人は」と言葉をかけられた。(実際は祖父ではなく曾祖父)

明治三十六年完成の三條別院本堂のいわれを記憶していた住職がおられたことと、私の何代か前の住職が、いささかながら関わっていたことに驚いた。

そういえば、父は寺に立派な広蓋があると話していた。長男の結納のときその広蓋を使ったのだが、その上函に「明治三四稔十月自り三六年九月迄三條別院再建加談常在中本堂一番虹梁ノ分木棟梁代理節田清吉ヨリ拙者へ寄進シタルニ付紀念シ為廣蓋ニ造」とある。その文を前に

して、今ある三條別院本堂の再建には、幾多の人々の情熱と莫大な金員が費やされたことであろうと、当時の門徒・僧侶の情熱に、深く思いをめぐらすのである。

今三條別院の親鸞聖人七百五十回忌が計画されているが、前回七百回忌では私は中学生であった。従弟と挿鞋直しで参加し、その庭儀で聴いた雅楽の旋律と音声は深く私の記憶に残っていて、今も本堂に立つと当時の記憶が思い浮かんでくる。

聖人はご和讃に「己今当ノ往生ハ」と詠んでおられる。己今当に人々が連続無窮に本願にながって欲しいということだろう。

今日はこれまでのことが伝わりにくい時代と云われるが、決して人々に伝わらない仏法ではないはずである。

いわれるままに挿鞋直しで参加した身であって、縁をいただいて住職となってこの御遠忌を迎えようとしている。

過去を見て、未来につながる我々の動きは如何にしたらよろしいか、今、皆で考えようではないか。

(第十八組西源寺住職 楠 雅丸 氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

中川 隆正 氏(第十九組正願寺)より

ご執筆いただきます

### ■秋の別院奉仕研修開催

去る十月二十五日、教区推進員と別院有志の会を中心に、報恩講に向けて標記研修会を行いました。内容は仏具のおみがき、屋内清掃、境内地清掃で、六十名を超す参加者が三班に分かれ奉仕を行いました。

当別院恒例の行事として親しまれてきたおみがきでは、香炉・燭台・花瓶をはじめ、普段は外さない輪灯まで、研磨剤を使って浄土の荘厳をあらわす金色に磨きあげます。屋内・境内地も、平常よりも念入りに清掃し、報恩講を迎える準備を整えました。

### 推進員連絡協議

会会長であり報恩講実行委員会参拝部会委員の小岩井氏からは、清掃したこの本堂で、是



【磨きあげた仏具と共に】

非報恩講に参拝しようと呼びかけをいただきました。  
した。

「講」という仏法相統の形が減少していく今日、このように本堂で仏具を磨き、諸殿・境内地の清掃をしながら、人々と語り仏法に耳を傾けていくことができる場所づくりを継続していくことが大切なのではないかと感じた一日でした。

### ■改観寺雑巾講による雑巾贈呈式

去る十月十七日、改観寺雑巾講による雑巾贈呈式が行われ、雑巾二百十枚と、震災義援米二十キログを「進納いただきました」。

毎年、当別院での雑巾贈呈式を中心に日程を組み、団体参拝を計画してくださり、本年も二十一名でご参詣いただきました。冬季に行われる雑巾講では別院職員も微力ながら加勢させていただきます。砂ぼこりで汚れた別院の清掃奉仕を黙々と勤められていた一人の御門徒を助けるために始まったお講であると聞いていますが、現在では上記奉仕団のように、大勢のお力添えをいただいて別院の清掃が行われ、その場でも、いただいた雑巾を使用させていただきます。雑巾を商店で購入することが珍しくない時代になってきていますが、手縫いの雑巾からは、別院への想いが伝わってきます。



【贈呈式後に記念撮影】

### ■報恩講儀式作法講習会開催

来るお取り越し報恩講に向けての標記講習会が、本年は佐渡地区（佐渡組善正寺）、三条別院を会所に開催され、それぞれ五名、十名の参加をいただきました。講師に元本山定衆、安藤栄寿氏（第二十一組 勝楽寺住職）をお招きし、特に三条別院報恩講の内陣出仕・退出を念頭においた講義・実技が行われました。

また、念珠・五条袈裟・差貫をはじめとした、装束についての具体的な指導もありました。来る三条別院報恩講に、多くのご参勤をお待ちしております。



【佐渡地区（上）、三条別院（下）】

### ■別院書道教室開講

「地域に開かれた別院」を趣旨に、十月より三条別院を会場に書道教室が開講されました。新潟県書道協会理事の木原光威先生を講師に招き、三条市民の方々など二十名を超す受講生と共に、基本的な筆法から学びを始めています。十月十日の初回には、本堂で開講式を行い、先生からは書道教室にかける意気込みを語っていただきました。初回は筆で「渦巻き」を書くなど、筆先の動きを

知ることからはじまりました。禅僧の書は有名ですが、真宗でも昔居等に講師を招必ず一筆の書をいし、講師は堂々語を書かれたとす。仏道と書道史的に深い繋ががあり、書道教室がに触れる一つのかけになれば幸いです。

【基礎から丁寧に指導】



は安  
くと  
お願  
と法  
聞き  
は歴  
りが  
仏法  
きつ

### ■御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げております。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【十一月二十八日（水）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 真四句目下

念仏讚 洵五

和讚 回口 次第六首

回向 願以此功德

### ◎今月の法話講師

高田正人 氏（第二十組 西養寺）

◇◇後の講師

十二月 北島 栄誠氏（第十一組 長福寺）



## ■定例法話会のご案内

毎月十二日は、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、この「両度の命日」についてお書きになられています。(四帖目十二通)



【北原氏には4ヵ月に亘って法話をいただく予定】

三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。

皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(二時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師 九月〜十二月

北原 了義 氏(第十一組 西照寺)

## ■別院声明教室のご案内

今年度より、別院声明教室を毎月一回開催いたします。門徒の朝夕のお勤め、得度考査の内容の講習ですので、是非ご参加ください。

詳細は、同封の案内参照。

## ■三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いを持ち、法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。

現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多く

の方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院ください。お申し込みは、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

## ■三条別院巡回について

去る十月十九日、下須頃集会所にて別院巡回が行われました。正信偈と同朋奉讃のお勤めの後、輪番より御法話がありました。法話の後にはおときの席では、「昔は各町内ごとに巡回に来ていただいた」というお話もお聞きし、参加者からは巡回が少なくなるのは寂しい限りだと率直な感想もいただきました。

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてますので、お気軽にご相談ください。

## ■三条別院非常勤嘱託募集について

全寺院に既に案内させていただきました非常勤嘱託を、引き続き募集いたします。詳細・履歴書につきましては、当別院までご連絡ください。

一、募集人数 若干人

二、勤務先 真宗大谷派三条別院

三、職種 列座業務

四、勤務時間 月十五日程度 平常午前六時から八時まで 諸法要及び土日祝日に出勤の場合(月一回程度)は、その限りではない。

五、応募資格 ①真宗大谷派の僧侶 ②儀式・

声明を学ぶ意欲がある方

六、その他 定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

## ◇◇編集後記◇◇

下の写真は先日、別院のおみがきの準備をしている時に見つけた花瓶ですが、おそらく御内仏の花瓶として、どちらかのお宅で使われていた物を別院が引き取ったものでしょう。その表面は丁寧におみがきがされていたことが一目で解かる程に摩耗しており、お荘厳されていた方がどのような毎日のお勤めをされていたかを考えると頭が下がります。



別院のおみがきも前述の通り二十五日に終わりましたが、皆さんの熱心に作業されているお姿に、仏法がこのようなお取り持ちによって相続されていくことの嬉しさを隠せません。

別院の仏具が写真の花瓶のようになるまで磨かれることを願い、大切にお荘厳していきたいという気持ちをより強くしました。(M)